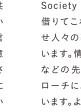


工学部長 伊藤 彰則

工学系の女性研究者が少ないというのは世界共 通の悩みですが、日本では特にその比率が少ない のが現状です。しかし、昨年の本学DEI推進宣言 などにも見られるように、我々の、そして社会の意 識も大きく変わりつつあります。性別だけでなく、さ まざまな立場の方々に対して開かれた東北大学に していくため、ALicEの活動を全面的に支援してい きます。





吉岡 敏明

資源・エネルギー・食料・災害・暮らしへの対応な ど環境問題に対しては様々な角度から取り組みが されています。環境に対する価値も自分の置かれ た立場によっては様々であり、答えは決してひとつ ではなく、みんなが知恵を出し合って相互理解を 深めていくことが大切です。環境科学研究科は暮 らしやすく明るい未来社会を創ることに取り組む ALicEの活動を支援します。



情報科学研究科長 加藤寧

Society 5.0では人工知能(AI)やロボットの力を 借りてこれまでの現実空間に仮想空間を融合さ せ人々の暮らしを豊かにする未来社会を目指して います。情報科学はAI、IoT、データ数理、ロボット などの先端技術にとどまらず、文理融合のアプ ローチにより様々なグローバル課題にも挑戦して います。より多くの女性研究者が活躍できるように ALicEの活動を全力でサポートします。



西條 芳文

医工学は医学と工学の学際分野と言われていま すが、実は多様な人々のニーズとシーズの交差点 です。私たちが行っているデザイン思考による医療 機器開発では、多様な人々が抱えるニーズとそれ に対する共感を重視して課題解決につなげていま す。多様な視点に基づく開発で、明るく健康な未 来を作っていきましょう。医工学研究科はALicEの 活動を支援していきます。



青葉山に生息するずんだ(枝豆)色のたぬき。お口は 工学部の「工」、おなかの模様は東北大学の口ゴにも 使われている「萩」。工学や科学技術に興味津々たぬ!

※東北大学工学系とは、東北大学大学院工学研究 科、情報科学研究科、環境科学研究科、医工学研究 科、災害科学国際研究所、未来科学技術共同研究 センター、環境保全センター及び国際集積エレク トロニクス研究開発センターの総称です。



東北大学工学系 女性研究者育成支援推進室

# **ALicE**



女性研究者になる



Association of Leading Wome Researchers in Engineering





東北大学工学系女性研究者育成支援推進室

〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6 東北大学工学研究科·工学部 総合研究棟13F 1305-1-3



# 真に豊かな社会の実現のために

# 多様性を尊重しています

工学は、我々の日常生活を下支えする技術を生み出すことや、新たなイノベーションを創出することによって、我々をより良い未来社会へ導く学問です。現在、社会は複雑であり常に変化し様々な課題が生じますが、これらの課題の解決のためには、工学を多様な視点で捉えることが求められています。

東北大学は多様性を実現するために全ての学生・教職員が、尊厳を認め、個性を尊重し、相互を理解して、学修・教育・研究・業務に専念できるように、東北大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DEI)推進宣言が行われ、工学系分野でも積極的に推進しております。

工学の分野では今なお女性がマイノリティでありますが、様々な課題解決のために女性の視点や活躍が期待されています。ますます多くの女性研究者が工学系の分野で活躍できるよう、東北大学工学系女性研究者育成支援推進室(ALicE)はこれからもサポートしていきます。なお、ALicEの活動は2023年に10年目を迎えました。本活動をこれまで支えてくださった皆様に心より感謝いたします。



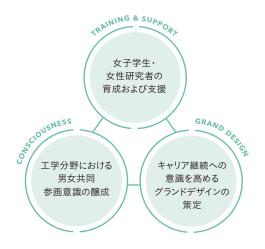
ALicE 室長

# 田中 真美

#### 活動目的 Purpose

# 工学分野の 女性の活躍を応援

工学分野において女性が安心してキャリア を継続できる社会の実現を目指して活動し ています。工学系女性の育成支援、男女共 同参画意識の醸成、キャリア継続への意識 の向上に取り組んでいます。



#### 活動実績 Activities



### 平成28年度女性のチャレンジ支援賞(内閣府)を受賞

学内にとどまらない工学系女性研究者の研究環境整備として評価されました。



# 女性のチャレンジ賞 女性のチャレンジ支援賞

各種活動にチャレンジして輝いている女性や、それを 支援する団体・グループを顕彰することでチャレンジ の身近なモデルを示し、男女共同参画社会の実現の ための機運を高めることを目的として、内閣府男女共同 参画局が実施している表彰です。





### 女性研究者の見える化・工学魅力の発信



#### 科学体験プログラム

科学の知識を深め身近に感じてもらえるよう、 、中学生向け科学体験プログラムを開催して います。また、女子中高生向けに、研究室を訪問 してさまざまな分野の研究を実際に見て触って 体験することができる研究室見学会も開催して



#### 女子中高生のための ミニフォーラム

オープンキャンパスにて女性教員と企業で活躍 する卒業生、女子学生が講演を行うミニフォー ラムを開催しています。講義、クロストークのほ か、懇談会(質問会)も設けております。奮ってご 参加ください。

### - 🖂 参加者の声

- ついて詳しく知ることが できました。受験勉強の モチベーションが高まり ました。(群馬県 高校生) かったです。(福井県 高校生)
- 職業の方の話を聞けて、良い 経験になりました。懇談会では、 ほぼ一対一で話が聞けて良
- ◆ 研究内容や学生生活に ◆ 普段あまり関わることのない ◆ 中学生の娘と『ミニフォーラム』に参加 してみました。医学に関心のあった彼 女も工学が身近に感じたようで、これ から工学部についてもっと調べると 言っていました。(保護者 宮城県)



#### 女性研究者や 育児期の研究者の紹介

工学の魅力を広く知っていただけるよう、女子 高等学校を中心に出張講義(オンライン可)を 行っています。また、ニュースレター、ホーム ページ、SNSにおいて工学系女性研究者の紹



## 研究と育児・介護との両立支援



### 託児室・静養室

工学系に所属する教職員と学生が、研究教育・ 就学のために必要な一時保育スペース(託児 室)と、体調不良や搾乳の際に利用可能な静 養室が整備されています。子を同伴しての打ち 合わせや学会一時保育の場としても利用され ています。

託児室に関するお問い合わせ TEL 022-795-5678 eng\_alice@grp.tohoku.ac.jp



# [学系ベビーシッター

育児と研究の両立のためにサポートを必要とし ている工学系研究者に、ベビーシッターや一時 託児の利用料を補助の支援を行います。本支 援は男女問わず、学生も利用可能です。詳細は Webサイトでご確認ください。

ベビーシッター利用料等補助の申請 https://alice.eng.tohoku.ac.jp/ompatibility



#### 研究支援要員派遣

育児・介護、社会貢献などのために研究時間の確保 が困難な研究者に対し、研究支援要員(事務補佐 員)を派遣します。社会貢献のための支援は女性研 究者のみが対象ですが、育児・介護の場合は男女 問わず支援が利用可能対象です。お困りの際はご 相談ください。詳細はWebサイトでご確認ください。

### - 🏻 利用者の声

「ついつい後回しになってしまう事務仕事を てきぱきと片付けて頂き大変助かっています。 気持ちにも余裕ができて、家のことにも頭が 回せるようになりました。」



## 工学分野における女性リーダーの育成



#### STEP-ALICEプログラム

工学系女性教員と女子学生に対して、学会参 加や共同研究打合せ等に関わる出張経費や論 文投稿費・英文校閲費の一部を補助しています。 申請時期は5月と10月の年2回。支援額の上限 は、海外旅費20万円、国内旅費8万円。 申請書類はHPよりダウンロード可能です。

#### - □ 利用者の声

- ◆「今後も、海外に出て経験と実績を重ね、働く女性 ◆「若い研究者にとって早期に国際的なネットワー の道をさらに開いていきたいと思います。また、 次世代の方々にもぜひそうしていただき、働く 女性研究者が出張しやすい環境をともに整え て行けたら嬉しいです。」
  - クを構築できることは自身の研究の展開に非常に 大きな効果を与えると思うので、本プログラムを 活用し積極的に国際会議へ参加し、自分の研究 を試す経験をしてほしいです。」



#### セミナー・交流会

工学系に所属する女性研究者と女子学生を 対象に、スキルアップ・キャリア育成を目的とし たセミナーや交流会を開催しています。

#### - □ 参加者の声

- ◆「結婚や出産・育児など、女性としての人生の ◆「先輩方の話を聞いてあまり心配し過ぎず、自分 分岐点において将来考えるであろうことを直接 経験者から聞くことができて良かったです。」
  - が今やりたいことを一生懸命やった方がよいと 思えて、将来に対する不安が和らぎました。」



# 女性教員の積極的採用への取り組み



女性教員の積極的採用と上位職へ の登用を応援しています。研究室や 託児室、女性静養室などの環境整備 を行い、女性教員が安心して研究で きるよう取り組んでいます。

## 情報共有による問題解決

#### 情報提供•情報共有

情報提供・情報共有を目的として、工学系女子 学生・女性研究者のためのメーリングリストを 運用しています。保育情報や研究助成等の公募 情報、各種イベント情報を配信しています。

> メール配信のお問い合わせ eng\_alice@grp.tohoku.ac.jp

- ☑ 研究費や海外渡航旅費の公募情報
- ✓ 保育所やベビーシッターなどの情報 ✓ 学内外のイベント・シンポジウム情報
- ✓ 各種支援制度について詳しい説明

#### おはなし窓口

女子学生・女性研究者に関する相談や問い合 わせを男女問わず受け付けています。

> おはなし窓口(ALicE) TEL 022-795-5678 eng\_alice@grp.tohoku.ac.jp

#### その他の相談窓口

- 1 学生支援室
- ② カウンセリングルーム
- 3 ハラスメント相談窓口
- 4 男女共同参画相談窓口

#### Q&A

#### ○ 工学はどんな学問ですか?

工学は生活や社会をより良くするための学問で、科学技術の ちからで新しいものを作り、課題解決に取り組みます。社会に役 立つものづくりを行うため、社会のお医者さんとも言われます。

#### ○ 実験が夜までかかる場合は?

青葉山キャンパス内には仙台市営地下鉄「青葉山駅」があり、 便利です。さらに、工学部同窓会の女子学生支援があり、深夜 帰宅時にタクシー利用もできます。

#### ○ 研究と家庭、どちらも両立できますか?

研究と育児の両立を目的としたベビーシッター利用料等補助や、 研究支援要員派遣といった支援を行っています。また、学会等で 一時託児に利用可能なスペースもあります。

#### 数字で見る工学系女子学生









就職

※令和5年3月卒業者







※令和5年3月修了者